

卓越技能者推薦書（１）

（様式第１）

年 月 日 現在

職業部門番号	職種名（１）	別表の職種（１）から選択して記載	職種名（２）	別表の職種（２）から選択して記載	推薦事業所（団体）の所属人員		
5	電子応用機械器具組立工		電子計算機組立工		〇〇人		
ふりがな	かながわ たろう	性別	男	職歴	在職期間（年月日）		
被推薦者氏名	神奈川 太郎			△△電気（株）に電気工として就職	S57.4.1 ~ S58.3.31		
生年月日	昭和39年1月1日	年齢	60	〇〇電気（株）〇〇工場に電子計算機組立工として入社	S58.4.1 ~ H12.3.31		
(現住所)	〒123-4567 都道府県 神奈川県 市区町村 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 TEL 012 - 345 - 6789	年齢は令和6年11月1日時点	同工場組立工 作業長 " 課長として現在に至る	H12.4.1 ~ H22.8.31	10年5月		
				H22.9.1 ~ R6.11.1	14年2月		
(就業地)	事業所名 〇〇電気（株） 〇〇工場						
企業全体の従業員数	〇〇人						
所在地	〒987-6543 都道府県 神奈川県 市区町村 〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号 TEL 222 - 333 - 4444						
重複期間を除く在職年月数 計					42年7月		
現職については、令和6年11月1日をもって終期とすること。							
表彰歴	表彰の種類	有・無	表彰の概要		取得年月		
	大臣表彰	有	科学技術庁長官表彰 〇〇用シリコン整流器の開発（創意工夫功労）		平成〇年〇月		
	知事・市長・行政機関表彰	有	県優秀技能者表彰 〇〇に係る技能について表彰		昭和〇年〇月		
	業界団体表彰	有	県職業能力開発協会会長表彰 技能検定の推進について表彰		昭和〇年〇月		
その他表彰（勲章・褒章を含む）	有	黄綬褒章		令和〇年〇月			
免許・資格等	免許の種類	有・無	免許の種類等の概要		取得年月		
	職業訓練指導員免許	有	電子科		昭和〇年〇月		
	技能検定委員	有	〇〇県技能検定委員（機械）		平成〇年〇月		
	特許・実用新案・その他	有	特許123456「〇〇用〇〇装置の考案」		平成〇年〇月		
大会入賞歴等		有・無	業種	職種	技能士の等級・名称	取得年月	
	高度熟練技能者	無			特級電子機器組立て技能士	平成〇年〇月	
	ものづくりマイスター	有		〇〇職種			
	全技連マイスター	無					
		有・無	開催回数	参加職種	順位		
	技能五輪国際大会の入賞歴	無					
	技能グランプリの入賞歴	無					
技能五輪全国大会の入賞歴	有	〇回	機械職種	〇位			

※ 「職種名（１）（２）」欄には、要綱別表に定める職種名を記入してください。

※ 「表彰歴」「免許・資格等」「大会入賞歴等」「技能検定」に記載した賞状・免許証・資格証・合格証書等の写しを必ず添付してください。欄内に記載しきれない場合は推薦書（２）に記載してください。推薦書（２）にも記載しきれない場合は任意様式にてご提出ください。

※ 職業部門22「障害がある技能者」として推薦する場合には別添様式も提出してください。

卓越技能者推薦書（２）

（様式第１）

職業部門番号	職種名（１）	職種名（２）	ふりがな	かながわ たろう
5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	被推薦者氏名	神奈川 太郎
表彰歴 （続き）	表彰の概要	取得年月	表彰の概要	取得年月
免許・資格等 （続き）	免許・資格等の概要	取得年月	免許・資格等の概要	取得年月
	推薦書(1)に書ききれない表彰歴・免許資格・大会入賞歴等を記入し、賞状の写し等を添付する。			
大会入賞歴 （続き）	大会の概要	順位	大会の概要	順位
	過去の推薦状況について記入する。初めての推薦の場合は0回と記入する。			
過去の推薦回数	推薦者	〒 123-4567		
年度		（所在地） ○○市○○町○丁目○番○号		
年度		（事業所・団体名） ○○電気（株）○○工場		
年度		（推薦者 職・氏名） 工場長 ○○ ○○		
年度		（担当者 部署・職・氏名） ○○課 ○○ ○○		
年度		（担当者 電話番号） 222 - 333 - 4444		
計 0 回	（担当者 E-mail） ○○@○○.co.jp			
技能の概要	功績・貢献の概要	後進指導育成の概要	現役性	
<p>半導体応用装置の製造に長年従事し培った知識・技能を有しており、特に下記の技能に優れている。</p> <p>1 シリコンスタック組立技能 ○○用シリコン整流器の製作はシリコンスタック組立技能がポイントとなる。当人は、セレン整流スタック組立の技能を習練し、その経験と研究の中からシリコン固定加圧方法とねじ締め方法によるシリコンスタック組立技能を生み出した。○○に使用されているシリコンスタックはその技能が基礎となっており、現在は幅広く標準化されている。</p> <p>2 束線製作技能 トランジスターインバーターは、ノイズに弱く、その機能は束線製作と配線方法に大きく左右される。特に、束線製作は配線を行う基礎となることから、シリコン整流器組立の優れたノウハウをベースに応用と改善を重ねることにより、多機種に通用する束線製作技能を生み出した。</p>	<p>1 ○○の生産性向上に寄与 ○○用のシリコン整流器の試作・製作を担し、高度で複雑な作業工程の標準化（平成○○年○月、科学技術庁長官表彰）を図った。 また、○○組立方法の改善を実現するとともに、効率的な作業手順を確立し、生産性向上に大きく貢献した。</p> <p>2 高速道路トンネルの環境改善に寄与 ○○高速道路○○トンネル集塵器の試作・製品化を担当し、トンネル内自動車排煙集塵機能の向上を図った。また排煙公害を排除しトンネル内の環境改善及び安全通行に寄与するとともに、周囲の自然環境維持に果たした役割は大きい。</p> <p>3 海外における技術伝承 半導体応用装置をはじめ集塵装置の現地据え付け作業において蓄積された技能を生かし○○国のプラント建設に貢献した。その過程で多くの現地スタッフにその技術を伝承し、○○国の高い評価を得た。</p>	<p>1 技能五輪大会出場者の指導を通じ、工場よりこれまでに10人を全国大会に出場させ、1位入賞5名の成績を果たした。</p> <p>2 ○○年から技能検定委員として、検定（電子機器組立て）の運営に貢献し、現在も県技能検定専門委員として活躍している。</p> <p>3 ○○工場はもとより、関連企業の重要基本作業の推進に貢献し、○年間当社の技術指導員として指導し、20名を特級技能士に育成した貢献は大である。</p>	<p>本人は、係長としてまた技術指導員として後進技能者の指導に力を尽くしながら、自ら、電子機器組立工として、現場の組立作業に日々従事している。</p> <p>現在従事している業務内容とその内訳は次のとおりである。 就業時間○時間</p> <p>1. 課題の検討及び仕様書類の作製（○時間） 2. 指導方法、訓練内容の検討及び改善（○時間） 3. 職場内の巡視、指導員や選手への指導・教育（○時間）</p>	
<p>それぞれ、なるべく具体的に記入し、被推薦者個人の持つ技術・技能による<u>ところの成果</u>を記載すること。 あくまで本人の技能を表彰するものであるため、団体等の役員歴のみの記載とならないよう注意する。（役員歴を記入する場合は、役員として何にどう貢献したかも併せて記入すること。）</p>				
<p>推薦者は推薦する団体・事業所の責任者（会長、所長等）を記載する。 担当者は表彰に係る事務担当者を記載する。</p>				
<p>具体的な現場名があれば、可能な限り記載すること。</p>				
<p>当該技能を实际使って仕事に従事しているかどうかを記載する</p>				

卓越技能者推薦書（3）

（様式第1）

職業部門番号	職種名（1）	職種名（2）	ふりがな	かながわ たろう
5	電子応用機械器具組立工	電子計算機組立工	被推薦者氏名	神奈川 太郎
技能の概要（続き）		功績・貢献の概要（続き）	後進指導育成の概要（続き）	現役性（続き）
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 推薦書(2)に書ききれない場合は使用する。 </div>		